



三嶋先生



リハビリ三嶋OT



2つの顔

三嶋作業療法士(OT)は、グリーンワフ東戸塚のリハビリに4年程勤めていましたが、平成28年から横浜リハビリテーション専門学校の先生になりました。現在は、作業療法士を目指す学生さんに教えながら、グリーンワフ東戸塚にも引き続きOTとして非常勤で働いています。

横浜リハビリテーション専門学校 三嶋先生からの声

「グリーンワフの皆様にご指導いただくこと、テキストには載っていない現場での出来事を、授業で具体的に説明し、分かりやすく指導しています。また、知識や経験だけではなく、ホスピタリティ(喜びを与えること)や、感じることの重要性も学生に伝えています。」

グリーンワフ東戸塚リハビリ 三嶋OTからの声

「生活期で求められるリハビリ、利用者さまが満足できるリハビリを考え、リハスタッフ全員で取り組んでいます。常に勉強させていただいています。現場と学生の橋渡しのような存在になれたらと思っています。」

三嶋先生の顔



三嶋OTの顔



横浜リハビリテーション専門学校にて

グリーンワフ東戸塚にて



お知らせ

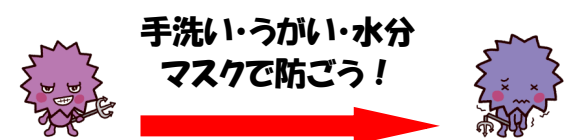


インフルエンザや ノロウイルスに注意!!

乾燥する冬はインフルエンザやノロウイルスが流行る季節です。高齢者は体力の低下で感染しやすくなりますので、体調が悪い方や小さいお子さんとはご面会を控えてくださるようお願い致します。

また、冬は喉の渇きを感じにくく、乾燥しているのに水分補給を忘れがちです。水分補給は喉や鼻の粘膜を潤して、ウイルスを痰や鼻水で排出する作用を助けます。

手洗いうがいに加えて、水分補給をこまめに取り対策をしましょう。



発行 医療法人社団康久会 介護老人保健施設グリーンワフ東戸塚 広報委員会

〒244-0805 横浜市戸塚区川上町151番地 TEL 045(827)1141 FAX 045(827)1294

<http://www.greenwharf.com/>



みどりの風



No.79 令和2年2月1日発行

グリーンワフ東戸塚

より良い在宅生活を目指して

3種類の自宅訪問

グリーンワフ東戸塚では、入所の方が退所する際に、安全に在宅生活を行なえるように、入所前後と退所前後に自宅への訪問を行ないます。また、通所(デイケア)をご利用の方には、自宅内での生活にリハビリが活かされるよう、自宅訪問を行ないます。3種類の自宅訪問の意味合いと特徴をご紹介します。

入所前後訪問

入所前、または入所後1週間以内に、入所する方の自宅をリハビリスタッフ等が訪問して、自宅の状況を把握する訪問です。その方が自宅に帰るにはどのようなリハビリが効果的なのかを判断します。階段昇降が必要な方、自宅に段差がある方、和式生活をしている方など自宅の状況はさまざまです。この訪問で、自宅の状況をしっかりと把握して、早期の在宅復帰を目指していきます。



退所前後訪問

入所している方が自宅等への退所が決まった際に、リハビリスタッフ等が退所先に伺う訪問です。この訪問にはご本人や在宅ケアマネージャーも同席してもらい、退所先で実際に生活動作を行なってもらうことで問題点がないか確認します。必要に応じ手すりの設置や自宅のレイアウトの変更、必要な福祉用具の導入など、退所先の生活で困ることのないようアドバイスしていきます。



デイケア新規訪問

デイケア新規利用後1か月以内にご利用者の自宅を訪問して、自宅内の様子や生活様式の把握を行ないます。ご家族も同席していただき自宅での生活を確認し、リハビリに希望すること等をうかがいます。これらの情報をもとにリハビリプログラムを作成、利用者の方が現在の機能を維持することができるようお手伝いをしていきます。



ご自宅訪問を行なうことで、その方の自宅での問題点を把握することができます。その問題に対して適切なリハビリをすることで、入所の方は早期の在宅復帰、退所後やデイケアご利用の方は安定した自宅生活の継続が可能となります。

今後も引き続き、ご利用者様に対する最適なリハビリを行なうために、自宅訪問を実施してまいりますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします!



常日頃からの防災準備

防災委員会より、グリーンワーク東戸塚の防災への取り組みをご紹介します。

当施設には、防災に関して地震、災害発生時に取るべき行動マニュアルがあります。揺れた時、揺れた後、日中や夜間の場合など場面ごとに具体的に記されています。

また、『**緊急カード**』には、地震、災害発生時の緊急出勤の基準についてや、連絡方法、災害伝言ダイヤルの使用方法などが記載されています。職員はいざという時に備えて、『緊急カード』を常に携帯するようにしています。

緊急カード 表面

※一部連絡先を伏せています。

次の何れかの方法で情報を発信します

ツイッター ユーザー名でroukengを検索

ホームページ 『グリーンワーク』で検索

災害伝言ダイヤル 171 ⇒2を押す⇒045827 ⇒伝言を聞く

施設への連絡方法

ツイッター (要登録) roukengを検索しリツイート

携帯電話 080-3542- (看護の携帯)

携帯メール @docomo.ne.jp (看護の携帯)

PCメール @maple.ocn.ne.jp

TEL 045 (827) 1141

緊急カード

緊急カード 裏面

震災時緊急出勤の基準

	主任・副主任・リーダー・サブ	一般職員
震度5強以上	職場からの連絡がなくても自発的に出勤	管理者から指示・連絡がなくても自発的に出勤
震度5弱	職場からの連絡がなくても自発的に出勤し施設をチェックし必要があれば職員に出勤を指示	管理者から指示により出勤
震度4以下	職場に連絡をとり必要と判断すれば出勤	出勤の必要なし

ただし次の状態にある職員は対象外とします。

- ①職員自身若しくは家族が負傷している場合
- ②自宅建物が被災し家族が危険な状態にある場合
- ③保護を要する家族が自宅にいて他に保護する家族がいない場合
- ④保護を要する家族の所在が不明でかつ連絡が取れない場合
- ⑤職員自身が外出先で帰宅困難になり出勤が不可能な場合

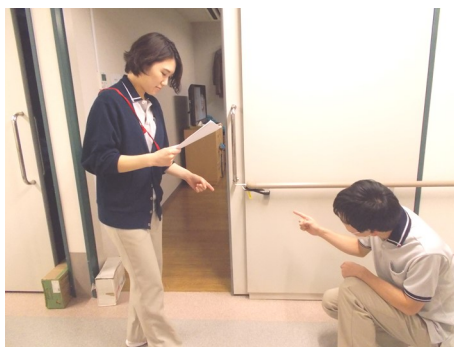
防災委員会では、看護、介護、事務など各部署の職員が月1回集まり、話し合いの場を設けています。

写真①は、夜間の防災チェックを行なっている様子です。防災委員がチェックする側となり、職員と共に施設内を周り、災害時の対応について質疑応答形式でチェックします。誰が夜勤で出勤していても、災害時に冷静に行動できるようにするため、普段から全職員に周知しています。

写真②は、令和1年11月に行われた防災訓練の様子です。夜間帯の火災を想定した避難訓練をしました。消火器や消火栓の使い方を確認し、職員の研修も年2回行っています。防災訓練は年2回行い、それぞれ日中想定、夜間想定で実施しています。

写真③は、災害時に職員が帰宅困難になった時の備えです。ご利用者と共に職員も守れるように3か月に1度は確認と点検をしています。

《①夜間の防災チェック》



《②防災訓練》

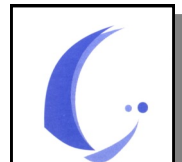


《③防災グッズ》



地震、火災などの災害以外による、台風による暴風雨などへの災害も想定し、対策を考えています。令和1年10月には、いまだかつてない大型台風が横浜に上陸するという予報から、当施設では窓ガラスに養生テープを貼り、出入り口に土嚢を積み、交通機関や道路の状況を考え、事前に職員の勤務変更をする等の対策を講じました。

今後も、グリーンワーク東戸塚をご利用いただく皆様の安全な生活を守るため、防災委員会を始め、施設全体で災害対策を講じ、防災準備を整えていきたいと思っております。



デイケアナース



パワーアップ!!

デイケア(通所リハビリ)の看護師は、令和1年1月から2名体制となったことにより、ご利用者の体調や急変にもより一層スムーズに対応できています。



守護神 高月



キッカー 家中



高月看護師はグリーンワーク勤務**15年**という長い年月、皆様の健康を守ってきたデイケアの守護神。家中看護師は息子さんとサッカーを楽しむ元気印。2人がタッグを組み、デイケアはさらにパワーアップしました。

バイタルチェックに始まり、薬の確認や処置など、皆様の体調に気を配りながら、安心、安全にデイケアで1日過ごしていただくことに、これからも努めてまいります。



買い物外出企画

施設車でイオンへお買い物へ♪
お好きな物が買えたでしょうか？



居酒屋つとむちゃん

施設内に開店！店長は事務長
店員は施設職員です

